

テモテ―まかせて安心な働き人

(ピリピ二・一九～二四)

「まかせて安心」でググると最初に
出てくるのは某保険会社のウェブサ
イト。だが自分の記憶ではこのコピー
はヤマト運輸のものであったはず。と
いうことで更にググるとやつぱりそ
うだった。だがこの名コピーに「元ネタ」
があったことが新たに判明。何でも当
時提携していた米国企業のキャッチ
コピー、careful handling をアレンジ
したものという。「注意深い取り扱い」
では味もそっけもないが「まかせて安
心」だとイイ感じだ。

閑話休題。今日の箇所においてパウ
ロはピリピ教会の様子を知るために
愛弟子のテモテを派遣することを書
いているのだが、それに留まらずパウ
ロはテモテの相応しさを称えている。
そう、パウロにとつてテモテは文字通
り「まかせて安心」な働き人だったの
である。以下、まかせて安心な働き人
の三つの特質について学びたい。

一、同じ心で心にかけてくれる人

パウロはテモテを派遣する目的を

九節において述べた後、なぜテモテがピ
リビに派遣されるに相応しいのかについて語
っている。第一に注目すべきはテモテがパ
ウロと同じ心をもっていたということであ
る。知つての通りテモテはパウロの愛弟子
であり、両者の関係は父と子のそれであ
った(ピリピ二・二二)。「テモテ一・二」。
だからパウロにとつてテモテはまかせて安
心な存在だったのである。もう一つはテモ
テがピリピ教会のことを真実に心配して
いたということである。英訳(NIV)では
「真正な関心がある」と訳されている。テ
モテのピリピ教会に対する関心は決して
芸能人のスキャンダルに興味を持ち、それ
をネタにするような週刊誌的関心ではな
かった。むしろテモテはパウロと同じ心で
福音の前進の為に働きつつも、霊的一致に
欠けるピリピ教会の様子を心配していた
のだ。パウロはそういう心を持つテモテこ
そこの任務に相応しいと考えたのである。

二、自分よりキリストを求めている人

テモテがまかせて安心な働き人であ
った第二の理由は彼が自分よりもキリスト
を求める働き人であったからである。二一
節の「だれもみな自分自身の事を求める
だけでキリスト・イエスのことを求めては
いません」という言葉はショッキングであ
るが、パウロの他の手紙を良く読んでいく

とそのように思ってしまうのも無理はない
と思えてくる。実際パウロの弟子たちの中
には世を愛して去っていったデマス(コテ
モテ四・一〇)や復活信仰を捨て、ガン
とまで呼ばれたヒメナオやピレトなど、キ
リストから離れた者たちが少なからずい
たからである。しかしテモテは違った。彼
は初代教会の中に吹き荒れた偽の教えに
誘惑されることなく、師であるパウロの背
中を通して、キリストを学び、ひたすらに
キリストを求め続けた。テモテはキリスト
の心をもっている。その心によつて彼の適
格性は確かめられているのだ。

三、従順な奉仕により確かめられた人

二二節は「テモテのりっぱな働きぶり
は、」と訳されているのだが、欄外注に
あるように直訳はむしろ「適格性」であ
る。つまりここでの焦点は人から見て派を
起こすような派手で大きい達成を彼がし
たということではない。実際に二二節には
派を起すどころか、師であり、霊的な
父であるパウロに子として全く従順に従
つて来たテモテの姿が描写されている。要は
パウロにとつてテモテはその有効性が結果
によつて十分に確かめられていたというこ
とである。宇宙開発を例にとれば、過去
に色々な宇宙船が出現したが、今なお使
われているのは初飛行から五十年を経過

したソユーズだ。その理由は幾多の経験に
よつて確かめられているからだ。この堅実
な信頼性こそ主の働きをまかせせるには大
切なフアクターなのである。

* * *

このようにパウロにとつてテモテは
「まかせて安心」の働き人であった。自
らと同じ志を持ち、パウロがキリストに
倣うように、キリストを追うパウロの背
中を追いかけ、福音宣教のわざに励み、
その実績によつて適格性を担保されて
いるのだからまさに言うことなしなの
だ。もつともこれはテモテが「完璧」だ
ったということを意味しない。実際彼に
は性格的な弱さがあったように、パウロ
はそんな彼にキリストにあつて強くな
るように励ましたりもしている。(コテ
モテ一、二章)パウロもそうだ。彼の強
靱な精神力は時に裏目に出、手紙の中
でも人を犬呼ばわりして、ののしかったり
しているほど(ピリピ三・二)。しかしな
がら彼らはキリストを思うことにか
けては人後に落ちない存在であり、そこ
に「まかせて安心」の働き人たる最大の根
拠がある。だから友よ、もし「主に用い
られたい」と願うなら、まず「私はキリ
ストを第一に思っているだろうか」と自
問しよう。全てはそこからだ。